

# 取扱施工説明書

# MAKITECH

品番 MPL-PAR-56-50 (昼白色)

MPL-PAR-56-30 (電球色)

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 安全上の注意



**警告**

製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示します。



● HIDランプ用器具(安定器二次側)、非常用照明器具、誘導灯器具、防爆用器具では絶対に使用しないでください。ランプの破損、発煙又は点灯回路損傷の原因となります。



● 必ず付属の落下防止ワイヤを取付けて使用してください。ランプ落下の原因となることがあります。



● 直流電源では絶対に使用しないでください。ランプの破損、発煙又は点灯回路損傷の原因となります。



● 取付け、取外し又は器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



● 調光機能の付いた照明器具及び回路では使用できません。不点灯や短寿命の原因となります。



**注意**

製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害が想定される危害・損害の程度を示します。

- 屋外で使用する場合は、適合したランプホルダと組合せて使用してください。適合以外の器具に使用されると浸水により絶縁不良・感電・ランプ故障の原因となります。
- 紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災又は器具過熱の原因となります。
- じんあい(塵埃)の多い所では、ランプの使用はしないでください。器具過熱の原因となることがあります。
- 落としたり、物をぶついたり、無理な力を加えたり、きずついたりしないでください。特に器具清掃のときはご注意ください。破損した場合、落下や破片の飛散によるケガの原因となります。
- 万が一、発煙や異臭などの異常を感じた場合、直ちに電源を切って使用を中止してください。異常状態のまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 点灯中又は消灯後しばらくは、ランプが熱いので絶対に手又は肌をふれないでください。やけどの原因となることがあります。
- 引火する危険性のある雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気のあるところでは、使用しないでください。口金腐食や漏電及びランプ落下、破損によるケガの原因となることがあります。
- 油類・薬品などが付着する所では、使用しないでください。樹脂カバーなどの劣化(ソルベントクラックなど)によるランプ落下、破損によるケガの原因となることがあります。
- ソケットに確実に取付けてください。ランプ落下の原因となることがあります。
- ランプの大きさ(外径、長さ)及び重さを十分考慮した適合器具で使用してください。器具落下の原因となることがあります。
- 電球スタンド又は多灯用器具では、ランプが重い場合器具の転倒や落下の原因となることがあります。
- 振動または衝撃のあるところでは、ランプの使用はしないでください。ランプ落下、破損によるケガまたは器具過熱の原因となります。
- 前面カバー(グローブ)に亀裂が生じた場合、そのままの状態で使用しないでください。カバー落下、浸水により感電・ランプ故障の原因になります。
- 塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損によるケガの原因となることがあります。
- 既設の照明設備で点灯する場合には、照明器具、配線に絶縁劣化がないことを点検のうえ、使用してください。漏電事故などの原因となることがあります。
- ランプを長時間直視しないでください。目の痛みや視力障害の原因となることがあります。
- 冠水するおそれのある場所では使用しないでください。漏電、感電、故障の原因になります。

## ご使用上の注意

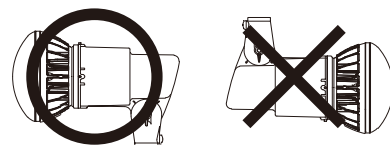
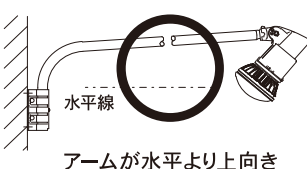
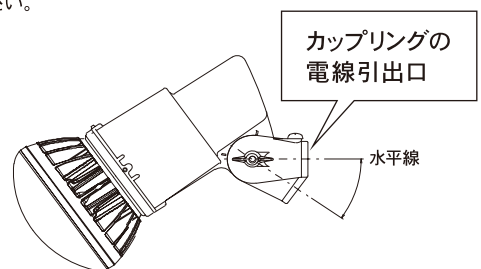
- ご使用時間の目安は、定格寿命(40,000時間)、または、8~10年となります。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しますので、定格寿命もしくは、それ以前のランプ交換をおすすめします。破損や落下、それにもなうケガのおそれがあります。
  - ランプは下記の環境・条件では使用しないでください。火災・感電・ランプ落下による事故のおそれがあります。
    - ・点灯時の周囲温度が規定値を超える所
    - ・振動、衝撃のある所
    - ・腐食性ガス、可燃性ガスの生じる所
    - ・湿度の高い所(85%を越える所)
    - ・油類、薬品などの付着する所
    - ・粉じんの多い所
    - ・塩害のおそれがある所
    - ・塩素を使用している屋内プール
    - ・冠水するおそれのある場所
  - **点灯時の周囲温度は-20~50℃の範囲内で使用してください。**
  - 施工時などの一時的な点灯確認以外で、日中は点灯しないでください。不点灯や短寿命の原因となることがあります。
  - 口金部は防水構造となっていないため、専用器具以外で使用すると浸水により絶縁不良・感電・故障のおそれがあります。
  - 分解や改造は絶対に行わないでください。LEDの交換はできません。
  - ランプに向けて殺虫剤を噴霧しないでください。変色やランプひび割れの原因となることがあります。
  - ランプが汚れた場合は必ず電源を切り、ソケットから外した状態で柔らかい布などをよくしぼって水拭きしてください。洗剤、薬品、アルコール、シンナーなどを使用した拭取りは、ランプひび割れの原因となることがあります。
  - LED素子は、光色、明るさにばらつきがあり、同じ形式の商品でも光色、明るさが異なることがあります。
  - 点灯しているランプを長時間直視しないでください。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
  - ラジオやテレビなどの音響、映像機器を使用すると、雑音の原因となることがあります。雑音が入る場合は距離を離して使用してください。
  - 赤外線リモコンを使用する機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンの誤動作を引き起こす可能性があります。
  - 直流電源では使用しないでください。
  - 電源電圧(AC)は90~242Vの範囲で使用してください。
  - 発電機を電源とする場合は、正弦波インバーター搭載発電機以外では使用しないでください。不点灯や短寿命の原因となることがあります。また、発電機を起動し安定してから、LEDランプに通電してください。また、発電機との相性によってはちらつきや不点になることがあります。その際は、故障の原因となりますので早急に使用を中止してください。
- ※ **取付前の確認を行ってください。**
- 既設の照明設備で点灯する場合には、照明器具、配線に絶縁劣化がないことを点検のうえ、使用してください。点検で異常が確認された場合は、器具ごと交換してください。
  - 既設の照明設備の寿命の目安は8~10年です。LEDランプに取替えてご使用いただく場合は、安全のため既設器具の寿命内でご使用ください。
  - 調光機能や遅れスイッチ及びセンサーライトには使用できません。不点灯や短寿命の原因となることがあります。
  - LEDランプの最大径部を持って器具に挿入し、止まるまでねじ込んでください。(ランプフィン部を持っての取付けは、フィン破損の原因となりますので絶対に行わないでください)
  - 周囲温度が非常に高くなる場所(ガス器具やストーブなどの熱器具の近傍)では使用しないでください。
  - ランプヒンジピンには専用の落下防止用ワイヤ以外は取付けしないでください。ランプ破損の原因となることがあります。

## 既設のランプホルダへのLEDランプ取付手順

### ※ 重要:取付前の確認

既設のランプホルダで使用する場合は、取付前にランプホルダの点検を行ってください。特に、高所に取付けられた看板照明の場所は落下のおそれのない状態で使用してください。点検で異常が確認された場合はホルダを交換してください。

- 既設の照明器具の寿命の目安は8~10年です。LEDランプに取替えてご使用いただく場合は安全のため、既設器具の寿命内でご使用ください。
- 器具の取付けが堅ろうに取付いているか確認してください。
- アーム・台座に腐食・損傷など、落下のおそれのないことを確認してください。
- 本体ダイカストに腐食・損傷など、落下のおそれのないことを確認してください。
- ソケットの受金及び中心接触片が腐食していないか確認してください。
- ケーブルに亀裂の発生や損傷がないことを確認してください。
- HIDランプ用安定器が取付けてある場合は、必ず取り外してご使用下さい。
- 必ず付属の落下防止ワイヤを取付けて使用してください。
- **カップリングの電線引出口が水平より下になるように取付けてください。アームをご使用の場合はアーム角度が水平より上向きであることを確認してください。浸水の原因となります。**



### 〈 LEDランプの取付方法 〉

#### 1. ガード、フードを取外す

※ガード(フード)付のランプホルダにLEDランプを取付けると、短寿命の原因となりますので、外してご使用ください。

#### 2. ランプ取付上の注意

ランプアダプタ(右図)に、ランプホルダの防水パッキンが密着していることを確認してください。

LEDランプの最大径部を持って器具に挿入し、止まるまでねじ込んでください。

(ランプフィン部を持っての取付けは、フィン破損の原因となりますので絶対に行わないでください。)

